

平成28年12月9日

平成28年第4回桂川町議会定例会

行政報告並びに提案理由の説明

おはようございます。

早いもので、今年も残すところ3週間余りになりました。

今年を振り返りますと、熊本県・大分県の地震、東北地方や北海道を襲った台風、鳥取中部地震などが発生し甚大な被害をもたらしました。被災地の一日も早い復旧・復興を願いますとともに、改めて、自然災害の脅威を痛感し、防災・減災に対する備えを怠ってはならないと考えているところです。

一方、国際的な動きの中で注目されているのは、アメリカ合衆国の次期大統領ドナルド・トランプ氏の動向で、TPP離脱表明や安全保障に関する認識など、我が国・日本の将来にどのように影響するのか？関心が高まっているところです。また、北方領土問題の解決に向けた日本とロシアの協議についても、注視されています。

シリアの内戦、難民・移民問題など、激しく変遷していく国際情勢の中であって、平和で安全な国際社会の構築を切に希望するものでございます。

さて、本日は、平成28年第4回桂川町議会定例会を開催いたしましたところ、議員の皆様には、公私ともに大変お忙しい中にも拘わりませず、ご出席を賜り心から厚く感謝申し上げます。

それでは、これまでの主な行政報告及び本日もご提案します議案等の提案理由についてご説明いたします。

はじめに、職員採用試験につきましては、退職者の補充及び事務の拡充に対応するため、一般事務職の採用試験を実施し、採用内定者の通知・公表を11月28日に行いました。

また、学芸員資格を有する職員採用試験については、広報紙やインターネットで公募するとともに、文化財関係施設や大学等に募集案内等を配布して募集を行っているところです。

次に、地方創生の取組につきましては、地方創生加速化交付金を財源とする「農業6次産業化プロジェクト事業」の要となる「地域商社」の設立に向け、これまでに5回の設立準備委員会を開催するなど取り

組みを進めているところです。

この「地域商社」の構成員の一部として、現在、国が進めております「地域おこし協力隊」の招致を考えています。この協力隊の制度は、人件費を含む対象経費については特別交付税で3年間措置されるという制度で、全国的には3,000人を超える隊員が活躍されているそうです。本町も、募集に向けて準備を進めているところです。

次に、ふるさと納税については、11月末現在で21名の方から合計137万円の寄附をいただいております。今後は、新たな返礼品の選定やインターネットの活用、業務委託などに取り組んでいきたいと考えております。

次に、町道・山崎上深町線、いわゆる桂川駅南側道路整備につきましては、本年度中に中間部分190mの整備を計画しており平成30年度末の完成を目指しています。

なお今回、補正予算に計上しております増額分は、道路の地下に埋設する排水ボックス工事と道路工事との整合性を図るものであります。

次に、今回、国が未来への投資を実現する経済対策として臨時福祉給付金を支給することになっていますが、これは、所得の低い方を対象に、暫定的・臨時的な措置として支給するものです。金額は、一人につき1万5千円となっています。

関係する予算は、平成28年度の補正予算で措置し繰越明許を行い、平成29年4月の中旬から申請を受け付け、5月中旬に支給する予定です。該当される方には個別に通知しますが、申請主義となっていますので、広報等のお知らせを参考にさせていただきたいと思っております。

次に、環境施設等のあり方は、去る11月7日に、桂川町、飯塚市、嘉麻市、小竹町、飯塚市・桂川町衛生施設組合、ふくおか県央環境施設組合の6団体による「環境施設等広域化協議に関する基本合意書」の協定締結を行い、平成29年4月1日から「環境施設等広域化に関する任意協議会」を設立する運びとなりました。今後は、関係6団体による環境施設等の広域化に向けた協議を進めていくこととなります。

環境施設の維持管理については、それぞれの市町が単独で行うよりも広域的に取り組む方が財政負担の軽減や環境負荷の低減を図ることができますので、積極的な取り組みを期待しているところです。

次に、学童保育所に通う子どもたちの学力の定着・向上を目指して、県が新たに創設した「筑豊地区放課後児童クラブ学習支援事業」に取

り組んでまいります。今回、関連予算を計上していますのでよろしくお願い致します。

次に、民生委員・児童委員につきましては、12月1日付けで全国一斉に改選期を迎えました。本町の委員定数は民生委員児童委員43名、主任児童委員2名です。

今回の改選に伴い、各行政区長さんよりご推薦をいただき、町の推薦会で候補者の決定を行い、厚生労働大臣から委嘱を受けたところです。委員の推薦につきまして、区長さんをはじめ、推薦会の委員の皆様にご尽力をいただき、改めて感謝申し上げます。

なお、今回の改選により、定数45名のうち42名は決定していますが、まだ決まっていない行政区がありますので、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

次に、以前から、福祉バスの済生会病院への運行について要望がありました。このことについては、関係機関との協議を整え、平成29年4月から、福祉バス及び買い物通院バスが運行できるように準備を進めてまいります。

次に、農業委員会につきましては、本年4月に、農業委員会等に関する法律の一部改正が施行され、農業委員の選出方法が選挙及び議会、団体推薦による選任制から推薦・公募に基づき議会の同意を必要とする任命制に改正されました。また、農業委員の上限定数の改正及び農地利用最適化推進委員の任命等が盛り込まれています。

本町の現在の農業委員の任期は平成29年7月19日までとなっています。任期満了に伴う改選を迎えるに当たり、法改正に伴う新たな条例を制定する必要がありますので、関係議案を提案しています。

次に、地方創生推進交付金の広域事業として取り組んでいます「つながる地域IoTリーダー育成事業」は、3年間の継続事業として、本町と飯塚市・嘉麻市が申請を行い、採択を受けたところです。

IOTは、インターネット・オブ・シングスの略称ですが、事業の概要は、地元の大学生や中高生を対象に、最先端のIoT技術やコミュニケーション能力を学ぶ研修会等を実施することにより、次世代のIoTリーダーを育成し、地域の活性化を目指すものです。関連する予算を計上していますのでよろしくお願いいたします。

次に、飯塚市在住の方より、桂川町瀬戸区内の土地について寄附採納願いが提出されましたので、検討した結果、将来の消防格納庫及び

地元公民館の建設地として有効であると判断し、受け入れを行ったところです。今後は、地元行政区と協議しながら、整備に取り組んでいきたいと考えています。

次に、平成28年度の補正予算として5件の議案を提案しています。

そのうち、一般会計の補正予算第3号は、補正額1億1,328万5千円を追加し、予算の総額を55億8,366万2千円と定めるものでございます。

補正の主なものは、歳入予算では、14款・国庫支出金において、国の経済対策分として支給される臨時福祉給付金に係る補助金や、保育所の事故防止等を目的としたモニターカメラ設置に係る補助金、飯塚市・嘉麻市との広域連携事業「つながる地域IoTリーダー育成事業」に対する地方創生推進交付金を追加計上しています。

次に、15款・県支出金では、学童保育所での学習支援事業に係る補助金、21款・町債では、農業用水利施設の改修に係る国土保全対策事業債、桂川駅周辺地区整備に係る都市再生整備事業債をそれぞれ追加計上しています。

一方、歳出予算では、人事院勧告に基づく職員人件費や本年10月の人事異動等に伴う関係費目について整理をしています。

個別の案件では、2款・総務費において、ふるさと応援寄附金の業務委託等の関係経費や、地方創生事業として取り組んでいる地域商社設立のための出資金、また、その地域商社への派遣を予定しております「地域おこし協力隊」の募集・雇用に係る関係経費を追加計上しています。

3款・民生費では、障害者自立支援関係費の国・県負担金等返還金、私立保育所等に係る「子どものための教育・保育給付費負担金」、臨時福祉給付金、学童保育所の学習支援事業費、町立保育所のモニターカメラ設置費等について、追加計上しています。

8款・土木費では、桂川駅周辺の防災調整池整備工事費の追加、10款・教育費では、私立幼稚園就園奨励費補助金及び就学援助費等を追加計上しています。

以上が一般会計の補正の主な内容でございます。

なお、本日も提案します議案は、人事案件が1件、条例の制定が1件、条例の一部改正が4件、補正予算5件の計11件でございます。

いずれも重要な案件でございます。

人事案件につきましては、私から、その他の議案につきましては、担当課長が説明いたしますので、慎重審議のうえ、議決賜りますようお願い申し上げます、行政報告及び提案理由の説明といたします。

どうぞよろしくお願いいたします。